



写真で
巡る

ゆめプラ 探検ツアー

輝きホール編



客席がまる～い！とココがいい！

輝きホールは客席が舞台中央に向けて座れるように配置されています。3階席でも舞台からお客様の表情がわかるくらい近いです。まるですべてがS席！この近さが舞台と客席の一体感を作り上げます。



丸い客電があたかくて いい雰囲気♥

公演によって最初に売れていく席が違って、オーケストラなどの音を聴くことを重視したい公演では客席中央から。出演者の気配を感じたい公演では前列から。ピアノリサイタルでは

前方下手通路あたりから。選ばれる席はさまざまですが、ほぼどこのお席からでも満足いただいています。



でもやっぱりチケットは早く手に入れなくちゃ！

事務長の藤井です。こう見えてワタシ、音楽が好きなんです！特に70年代のフォークソングは大好物♥

以前太田裕美さんや伊勢正三さんのコンサートがゆめたらうプラザで行われた時、なぜだろうか、のんびりしちゃってたんですね。あっという間に売り切れてしまっって買えなかったんですよ(泣)以後チケット購入と明日の準備は早く用意しようと心がけています。



オケピ？ブラピじゃないの？

ゆめたらうプラザ 輝きホールでは、前方客席(A～D列)を床下に収納して前舞台やオーケストラピットを作ることができます。2019年の音楽祭「合唱構成『ぞうれっしゃがやってきた』」ではオーケストラピット(略してオケピ)で演奏を。



JAZZの森にはゆめホテル®をたくさん飾りました

「ジャズ×ジブリ×ゆめホテル®クリスマスコンサート『JAZZの森』」では前舞台として大きな森を表現しました。



Youtubeで客席収納作業風景を
ご覧いただけます

<https://youtu.be/geXMreQDOis>



Youtubeで客席復帰作業風景を
ご覧いただけます

<https://youtu.be/ofRDJIMtftQ>



ゆめプラの反響板は折り畳み式



普段は舞台の奥に収納されています

音響反射板は、オーケストラやピアノリサイタルなどの催しで、繊細な音色を客席に届けるための舞台装置です。クラシック音楽専門ホールでは壁が反射板になっていたり、演劇公演なども行う多目的に使われるホールでは、使わない時は収納できる収納型になっていたり様々なタイプがあります。ゆめたらうプラザ 輝きホールの音響反射板は全国的にも珍しい壁面収納タイプです。また、輝きホールは舞台の音響反射板以外にも客席の壁が瓦でできており、音が良く響きます。会館の音響スタッフが公演ごとにお客様に最良の音をお届けできるよう日々頑張って調整しています。



Youtubeで反響板の点検風景を
ご覧いただけます

<https://youtu.be/LSMwMbb69yo>



舞台の天井って結構高いのよ

客席から見ているとそんなに高い天井があるなんて思えないけど、実は舞台の上には高さ20mもの空間があるのです！舞台の上には「バトン」と呼ばれる棒が25本吊っており、そこ



すのこにはバトンを動かすためのマシンがいっぱい！



上から見ると不思議な光景

に照明器具や幕などの舞台装置をぶら下げます。天井部分はすのこになっており、下がスケスケに見えちゃいます。高所恐怖症の人にはたまらないところです。舞台装置はバトンに吊って機械で上にあげるの、この天井部分は点検時以外にはあまり行くことはありません。



「施設のこと、もっと知りたい！」

勉強のために天井部分に行ってきましたが、最初は腰が引けてしまいました(笑)

事業で何気なく使っている舞台ですが、日ごろの保守点検があってこそ安全が守られており、点検の大切さを学びました。

